

令和6年度 第7回末野原地域会議 会議録

- 日 時 令和6年10月17日（木） 午後7時から8時45分
■場 所 上郷交流館 1階 第1研修室
■出席者 委員 : 13名（欠席2名）
事務局（上郷支所）：下川支所長、小船担当長

■次 第

- 「豊田市民の誓い」 唱和
- 1 会長あいさつ
 - 2 第6回地域会議の会議録について
 - 3 協議事項
(1) グループ協議 防災について
 - 4 その他
(1) 上郷地域バスについて
(2) 費用弁償費について
(3) 次回の地域会議について

■議事（要約）

- 1 会長あいさつ 省略
- 2 第6回地域会議の会議録について

・第6回地域会議の会議録の内容確認を行い、了承を得た。

- 3 協議事項
(1) グループ協議 防災について

- ・今後の進め方の確認
10月以降の協議内容を見直したことから、今後の進め方について説明した
- ・グループ協議の進め方の説明
予定していたグループ協議は実施せず、全体協議として、協議の進め方や考え方についての意見交換をした。

＜主な意見＞

- ・課題を検討する順番として、先に防災対策課に話を聞いて、現状を把握してから地域会議で話し合うという流れだと思う。
- ・防災対策課に話を聞いてからじゃないと、あるべき姿や地域会議で取り上げる内容か判断ができない。現状の対策の穴を見つけて、それに対してあるべき姿を作らなくてはいけない。

- ・事務局の説明のとおり、まずは自分の身は自分で守る「自助」、余裕ができたなら「共助」として隣近所など地域で助け合い、そこでも拾いきれない、いろいろな支援を必要としている人がいるときに「公助」という考えは理解できるが、能登の震災後の状況を見ると、行政の力を借りないと、何もできないような状況になってくるというのが現実であるため、やはり防災対策課に話を聞いてから考えたい。
- ・自治区や自主防災会等の既存団体が担っている役割や実施している事業（防災訓練等）は、課題があったとしても既存団体に任せればよい。地域会議でわざわざ取り上げる必要はないのではないかな。
- ・課題を検討する手順は、事務局案の順番でやってみたらどうか。最終的に目指す姿に近づけるために、こうするよいという所が、防災対策課の説明を踏まえて対策案を考えていくことができればよいのでは。現状の把握としてはそれでいいと思う。
- ・目指す姿（あるべき姿）は最初に決めた方がよい。
- ・目指す姿の防災活動の連携が図られている状態（条例第11条）とした場合、どうしたらその状態（目指す姿）に繋がるのかというのを考え、できていないことに対する事案が「課題」だと思う。
- ・地域会議で検討したことが、既に地域で実施しているということも出てくると思うが、現状としては、全て把握できているわけではないのではないかなと思う。
- ・目指す姿のこの部分に持って行くために、何が課題か整理し、おそらく課題は複数あり、その課題を解消するだけでは目指す姿にはならないかもしれないけど、ひとつのテーマでの目指す姿は整理できると思う。そのように持って行くのが難しいと思うが、いくつも話し合うとやりきれない。この問題についての目指す姿はこうだから、こういう対策をしていきましょうというように的を絞って考えた方がよい。
- ・防災といっても範囲が広いため、的を絞って話を進めた方が進みやすいと思う。
- ・せっかく前回3グループで課題や解決方法をまとめたので、その中から優先順位をつけ、話し合う内容を絞り込んで、絞り込んだ課題について今回の課題整理シートに沿って整理したらどうか。
例えば、3グループは10項目くらいあったと思うが、それに対して3項目だけ取り上げるなどして、課題整理シートに沿って問題だけを書く。その次に、その問題に対してどのような課題があるかを書く。さらに3・4つ整理して、問題解決の方法を考える。それを地域に還元したときに、市としては考えているけれども、もしも地域としてできていなければ、それが課題である。地域としてやれる方法は、いくら市が考えていてもできないから、こういう形で、ここで整理しましょうというような流れになってくると思う。いくつも幅広く検討すると、おそらく目指す姿に到達しない。せいぜい3グループで話し合ったのを3～4つくらいの問題に整理する必要がある。整理した問題に対しての課題を整理するというやり方かなと思う。
- ・3つのグループで話していたことをまとめるときに、目指す姿が違っていると、まとまらないと思うため、目指す姿はひとつにした方がよい。
- ・自分達で助け合ってなんとか窮地を乗り切ろうっていうのが目指す姿だと思う。それを、実際に災害が起きた時に避難所をみんなで円滑に運営していき、みんなの心のケアをしてあげられるには、どうしたらいいのかなというのが目指す姿ではないかな。

- ・今の自治区や自主防災会の仕事（役割）は何かというのがメインにあって、できていることできていないことがあり、できていないことが課題ではないか。その課題に対して、防災の推進や避難対策などは、どういう道順でいくのか。

自治区は一次避難場所、小中学校等が、次の最終避難場所になるわけであるが、そこまで行けない場合がいろいろある。その行けない場合は、どうしたら行けるようになるのか明確にしないといけない。

そのため、第一に、自治区や自主防災会は何をすべきなのかというのを整理する。第二に、自治区や自主防災会の仕事が、本当にできているのかを明確にして、できていないのであれば、その課題はどうしたらクリアになるかについて話し合う。そして、地域の課題があって、この課題を乗り越えるために、市は何をしてくれるのか確認することが、さらに次の段階だと思う。

まず自治区として何ができているか、できていないか、を洗い出すしかないのでは。

- ・末野原地区の防災訓練の一つの形として、11月に鴛鴦区民会館で、渡刈と鴛鴦と豊栄二区の3自治区合同の訓練実施を予定している。やってみて、いろんなところをすり合わせしていこうというのが趣旨だと思われる。その様なことも検分して、いい避難訓練ができるようにしていくのもひとつではないか。
- ・11月の末野原地区の訓練目的は、そもそも避難所に避難したときに、避難所の運営を自治区役員が主体となり担うということであるが、現状は何をやっていいかわからない。そのため、まずは役員が訓練を通じて、避難所開設（簡易トイレやベットの設営等々）に必要なことを学ぶことと、併せて、区民のみなさんに見学してもらい、このような形で避難所が出来上がるということを体験してもらうことである。
- ・避難所開設はまさに共助のひとつだが、その前の段階を完璧にするためにはどうしたらいいのかを先に考えたほうがよい。有事の際に、役員はどこに集まるのか、共助と公助の狭間の中で、我々がどのように動くのかなどを、まずは決めていかないとけない。それを実行するためには、公助に何を言ったらしてくれるのか事前に把握したい。共助として、実効性のある自主防災会を作るにはどうすればいいのか考える必要がある。
- ・事務局提案の手法で課題整理シートをもとに進めていくと難しい。現状と目指す姿のギャップが課題ということだが、そのギャップのとらえ方、ギャップを見つけることが、この手法に慣れていないと難しいと思う。
- ・最初に目指す姿が決まらなとできない。問題があつて、目指す姿と現状のギャップが問題点だから、目指す姿が決まらず、または3つのグループで違う目指す姿を設定しているとギャップも違ってくる。そうすると課題解決の方法も変わってくる。
- ・みなさんの住んでいる地域特性や考え方も違うので、ひとつひとつ合わせるようなやり方は多分無理だと思う。だから、こういう手法を使つたら、考え方が一方向に向くだろうということ考えたほうがいいと思う。
- ・ここの会議体でひとつを整理するではなく、3つを整理するのであればよいが、本来はひとつ。会議体として、ひとつ何かを作り上げるには、本来目指す姿はひとつじゃないとおかしい。もし、3つのグループがそれぞれ目指す姿を設定して進めた場合時間的にできるかわからない。

- ・提案であるが、前回上郷地区の避難所運営マニュアルを見せてもらい、とてもいいものだった。その末野原版を作って、各自治区でどんな課題が、やれているところとやれていないところを確認してもらい、できていないところを整理していくのがよいのでは。

様々な課題があると思うが、結局目指す姿は人命尊重だと思う。そこに向かって、上郷の避難所運営マニュアルはできているのか検証し、できていなかったら、末野原版のマニュアルで見直し、その中で課題、人命尊重のギャップみたいなものが何か考える。できあがったものを整理するほうが、時間的には早いと思う。

いちから、事務局提案の手法どおりにやっていくと、多分できないと思う。非常に難しいと思う。

- ・これまでの話を整理すると、目指す姿はグループごとに設定するのではなく、ひとつにしたほうがよいという意見があったので、目指す姿は全体でひとつにし、話題としては避難所がメインの話がかなり多く出ているため、例えば、避難所にまつわるようなことを中心に的を絞って進めていくのはどうか。
- ・避難所だけの話ではなく、共助としては自主防災会として何をできる、できないというところから始める話ではないか。
- ・マニュアルにこだわる必要はないが、避難経路などどのように避難するのかという話もあれば、避難所の運営の話もある。いずれにしても「避難」に関わる部分について、今後話し合っていくのはいかがか。
- ・検討するグループを二つに分け、避難所に行く前のことと避難所に来てからのことを考えたらどうか。目指す姿は一緒だと思う。

4 その他

事務局から、次の事項について連絡した。

- ・上郷地域バスの利用実績やイベントの紹介
- ・費用弁償費の振り込み日について
- ・次回の地域会議について

と き：令和6年11月21日（木）午後7時から

ところ：上郷交流館2階 ふれあいホール